



平成 23 年 7 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 日本 触 媒
 代表者名 代表取締役社長 池田 全徳
 (コード番号 4114 東証・大証 各第 1 部)
 問合せ先 総務部長 和田 輝久
 (TEL 06-6223-9111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 6 日に公表しました平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計期間(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

なお、平成 24 年 3 月期 第 1 四半期累計期間(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)業績についての決算発表は、平成 23 年 8 月 3 日に行う予定です。

記

● 業績予想の修正について

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	150,000	8,000	10,500	7,000	34.48
今回修正予想 (B)	165,000	16,500	18,000	12,000	59.11
増減額 (B-A)	15,000	8,500	7,500	5,000	
増減率 (%)	10.0	106.3	71.4	71.4	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	138,109	13,458	13,392	7,487	41.23

2. 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	106,000	5,300	9,000	6,000	29.56
今回修正予想 (B)	117,000	11,500	14,500	9,500	46.80
増減額 (B-A)	11,000	6,200	5,500	3,500	
増減率 (%)	10.4	117.0	61.1	58.3	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	99,449	9,277	11,440	7,573	41.70

・修正の理由(連結・個別)

平成 23 年 5 月 6 日公表の前回予想時においては、東日本大震災の影響により、基礎化学品などの販売数量が減少すること、それにアクリル酸エステルなど一部製品において、一時的に上昇していた輸出価格が通常価格水準に戻ることに伴い、また原料価格の上昇に伴い、売価と原料価格とのスプレッドが縮小することなどの要因を見込み、営業利益、経常利益および四半期純利益のいずれも減益を予想しておりました。

しかしながら、震災の影響による販売数量の落ち込みが現時点では見られないこと、一部製品において従前の高い輸出価格水準を維持していること、及びスプレッドも縮小せずに推移していることから、上記のとおり前回発表予想を修正いたします。

3. 平成 24 年 3 月期通期業績予想について（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

以下の理由により、平成24年3月期通期業績予想につきましては、平成24年3月期第2四半期決算発表時に改めて公表する予定です。

上記のとおり第2四半期業績予想は、利益面で前回発表予想に対して営業利益で2倍、経常利益および四半期純利益がいずれも1.7倍と大幅な上方修正となっており、主な要因は、想定以上の販売数量の増加及びスプレッドの維持・拡大であります。この様に、前回発表時点から現在までの間においても状況の予測が困難であること、並びに化学工業界における原料価格動向、東日本大震災等の影響による需給動向、および各国財政事情を反映した為替動向等の不透明さを勘案しますと、今後の変動要因が大きいため、現時点では平成24年3月期通期業績予想は困難であると判断いたしました。

※ご参考：前回発表（平成 23 年 5 月 6 日）通期業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連 結	320,000	23,000	25,000	16,500	81.28
個 別	230,000	16,000	19,000	12,500	61.57

以 上

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。